

革新県政の会

県知事選予定候補

日本共産党推薦

あべ精六さんとともに県政を変えよう

庶民増税、ムダ遣い

県民共同を探求した革新の代表

いま県民の一番の願いは、冷たい県政を変えてほしいということだと思います。県民の共同が広がってこそ県政は変わります。この立場で「革新県政の会」は共同を一貫して探求しましたが、民主党などが妨害し民主党推薦の人は共に踏み出せませんでした。これでは県政を変えることができません。「革新県政の会」推薦の県知事選予定候補、あべ精六さんは、県民共同を追求した革新・民主の代表であり、この人こそ県政を変えることができる唯一の代表です。



伊勢湾台風の救援活動が原点

高校卒業後、合板会社に入社したあべさんは、伊勢湾台風の救援活動に奔走しました。「救援物資がほしい」など被災者の切実な要求を実現するなかで労働組合に出会いました。これが社会的弱者の味方、あべさんの原点です。

格差社会をただして47年

あべさんは、四十七年間、労働運動にがんばってきました。あべさんの活動をささえてきたのは、愛知で生活し、働く、県民のみなさんの職場や地域にうずまく声でした。

中小企業の苦しみ知りぬいた人
あべさんは中小企業が大半の地域の木材関連産業などで労働運動をつづけてきました。大企業の横暴のもとでの中小企業の苦しみをふまえ、経営者側にも、ともに活路を切り開こうとよびかけてきたあべさんです。

格差や貧困と闘い続けてきたあべさんは、今も急増する労働相談にとりくむ多忙な日々。違法な偽装請負や不払い残業、過労死を迫及するあべさんこそ本物の働く者の代表です。

略歴

- 一九四〇年 岩手県に生まれる。
- 一九五〇年 岩手県安代町立安代中学卒業
- 一九五八年 岩手県立岩谷堂高校林業科卒業
- 一九五八年 石川合板株式会社入社
- 一九五九年 伊勢湾台風で、寮が避難所になる。救援活動のなかで労働組合と出会う。
- 石川合板労働組合副委員長。会社再建など中小企業の労働運動にとりくむ。
- 一九六四年 石川合板労働組合委員長
- 一九八三年 愛知統一労組懇談事務局長

- 一九八九年 愛労連(愛知県労働組合総連合)事務局長
- 一九九七年 愛労連議長
- 現在 愛労連労働相談センター所長
革新・愛知の会代表世話人
東浦町在住。妻と二人暮らし

▼連絡先 革新県政の会
くらし・教育・平和をまもる清潔な革新県政の会
TEL 〇五二一九一六二二四八
FAX 〇五二一九一六一八九



元愛労連議長
労働相談センター所長

私も推薦します。

- 弁護士 渥美 雅康
真宗大谷派報恩寺住職
- 石川 勇吉
日本共産党愛知県委員
- 岩中 正巳
神学研究者
- 消費税をなくす愛知の会代表世話人 大島 良満
- 愛知県商工団体連合会会長 太田 義郎
- 愛知県立大学名誉教授 可知 正孝
- 愛知県社会保険推進協議会事務局長 加藤 瑠美子
劇作家
- 栗木 英章
愛知県労働組合総連合事務局長
- 榎松 佐一
愛知争議団連絡協議議長
- 黒島 英和
民主青年同盟県常任委員
- 五島 未来
名古屋大学名誉教授
- 沢田 昭二
愛知平和委員会理事長
元愛高教職員
- 高橋 信
弁護士
- 竹内 平
生協わかばの里介護老人保健施設施設長
- 徳田 秋
名古屋大学名誉教授
- 島居 達生
名古屋大学名誉教授
- 中野 藤生
名古屋大学名誉教授
- 分護士 長屋 誠
元愛知県地方労働組合評議会議長
- 成瀬 昇
みなと医療生協
協立総合病院名誉院長
- 西崎 恒男
愛知県障害者自らの生活と権利を守る連絡協議会会長
- 野原 信一
前参議院議員
- 八田 ひろ子
愛知県労働組合総連合議長
- 羽根 克明
元東邦学園短大校長
- 原 昭午
愛知県保険医療協会名誉理事長
- 堀場 英也
元愛知県労働組合総連合議長
- 見崎 徳弘
新日本婦人の会愛知県本部会長
- 水野 磯子
元石川合板(株)総務部次長
- 村松 寿人
南医療生協病院名誉院長
- 室生 昇
愛知県民主医療機関連合会会長
- 矢崎 正一

みんなの県政

号外 2006年12月発行 革新県政の会
くらし・教育・平和をまもる清潔な革新県政をつくる会
名古屋北区柳原3丁目7-8
TEL.052-916-2148 FAX.052-916-4189
Eメール: info@kakushin.jp
愛知県知事選挙の政策と予定候補者のあべ精六さんをご紹介します。

(五十音順)



阿部せいろく あべ精六は やります

5つの改革プラン

自民・公明も民主も悪政を推進した神田県政を支えた点では変わりません。悪政に反省のない政党いいなりの知事では、県政の流れは変わりません。私は、県民の立場に立って、悪政から県民を守る県政に転換し、県民の笑顔があふれる県政にするために頑張ります。

- 1 住民税や介護・国保・医療・障害者の負担軽減をすすめます
- 2 中学卒までの医療費完全無料化、30人学級、医師確保をすすめます
- 3 中小企業・農林漁業を振興、若者の安定雇用を拡大します
- 4 巨大開発を中止、情報を公開し開かれた県政にします
- 5 憲法9条を守りぬき、教育基本法改悪、海外派兵や基地の軍事機能強化に反対します

● 巨大開発見直せばできます

徳山ダムの導水路や設楽ダム建設の中止など大型開発を見直し、大企業への超過課税を東京・大阪なみに引き上げるなど歳入を見直します。くらし優先に税金の使い方を変えれば、くらしの施策の財源はつくれます。

自治体の仕事は
「福祉の増進を図ること」
(地方自治法第1条の2)

県政の流れを転換し
「県民が主人公」の県政に
くらし支援の

自治体の
役割投げ捨て

くらし切り捨て

悲鳴いっぱい

ビックリでもホント

都道府県比較の全国順位

民生費の割合 (対歳出決算総額)	39位
児童福祉費の割合 (対歳出決算総額)	39位
災害復旧費の割合 (対歳出決算総額)	43位
老人ホームの定員数 (老年人口1000人あたり)	44位
小学校教員数 (児童1人あたり)	44位
救急自動車数 (人口10万人あたり)	43位

※「統計でみる都道府県のすがた2006年版 総務省統計局」より

神田県政は、「行革」の名で、特別養護老人ホームを民営化するなど、県民のくらしを守る施策を大幅に切り捨ててきました。

福祉・教育・医療
全国最低
バツサリ

ゼネコン奉仕・大企業本位 巨大開発で借金づけ

万博・空港を口実に巨大開発と企業優遇にお金を使い、借金大県になりました。

約4兆円

(県債残高)

原因

ムダと浪費
巨大ダム、高速道路
まだつづく

お客が乗らない東部丘陵線(リニモ)など万博・空港関連事業に約三兆円も使いながら、さらに必要のない徳山ダム導水路や設楽ダム、伊勢湾口道路など無駄な開発を続けようとしています。

借金

借金一世帯あたり
約二百二十万円

名古屋駅前の大企業ビルに約六十億円の補助をつけながら、県民には借金を押しつけ、一兆四千億円(県民一人あたり二十万円)の借金を増やしました。

小泉・安倍自公政権の悪政のもとで、「住民税が10倍以上に」「暮らしていけない」と悲鳴が続出。厚労省の今年の「国民生活基礎調査」によれば、「生活が苦しい」世帯は56.2%と過去最悪です。

増税地獄おしつけ県政

「県政を国の悪政から県民を守る防波堤に」こそ県民の切実な声です。しかし昨年6月議会で、神田知事と自民・公明・民主のオール与党は、国の増税そのままに県民税を上げること決めました。

雪ダルマ負担増、来年も

今年の増税で約268億円が県民負担に。来年は定率減税を全廃。住民税、国保料(税)、介護保険料も今年同様、雪だるま式に負担が増えます。しかし神田知事は、政府いいなりに県民負担を増やすばかりです。

大企業はさらに優遇

一方、空前の利益をあげている大企業へ政府がさらなる減税を計画。

神田県政も、大きく縮小された大企業への超過課税をそのまま続けたうえに、ばく大な額の補助制度や進出外資企業への経費負担制度までつくりました。



庶民に大增税、大企業に減税

現・神田「オール与党」

「財界栄え県民犠牲」の県政